

西尾市長選挙 進化を続ける政策目標

「変わらなきゃ、市民の声が届く西尾市に！」

<基本理念>

- ・ 市民と向き合う、公平・公正な市政
- ・ 子育て・福祉に全力投球する市政
- ・ 前例より前進！改革をおそれない市政
- ・ 脱ハコモノ依存で、未来にツケをまわさない市政

◇政策目標◇

【子育て、教育】

包括的で切れ目のない子育て・教育環境をつくることで、子育て世代を応援するとともに、西尾市への定住促進を図ります。

・ 病児保育、病後児保育の充実を図り、子育てしやすい環境を整備します。

・ 3歳児から5歳児の保育料・授業料を段階的に無償化することを目指します。

- ・安心して子どもを産み育てられるよう、特定不妊治療（男女とも）への助成を拡充します。
- ・公共施設のオムツ替えや授乳スペースを順次整備します。
- ・学校司書を拡充し、学校図書館を充実させることで、子どもたちの豊かな心と確かな学力を育成します。
- ・子どもの貧困対策にまず学習支援の面から取り組むことで、貧困の連鎖を断ち切り、教育の機会均等を図ります。

【医療、福祉】

信頼できる医療体制の整備と、予防を重視した包括的福祉政策で、市民の生活を守ります。

- ・市民病院の医師不足解消に向けた積極的なトップセールスを実施し、安全・安心で持続可能な地域医療体制の確立に努めます。
- ・健康寿命を延ばし、認知症対策を推進するためにも、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防を地域で包括的に取り組む地域包括ケア先進地を目指し、高齢者に優しい地域づくりに取り組みます。
- ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、住み慣れた地域でいきいきと自分らし

い暮らしを続けることができるよう、宅老所や「いきいきサービス」の活動を積極的に展開します。

- ・ 認知症や知的障害により、判断能力が十分ではない高齢者の権利を法律面で支援する、成年後見制度の普及に力を入れます。

【まちづくり、交通、雇用、観光】

1市3町が合併した今の西尾市には、それぞれの地域ごとに特色ある歴史や文化伝統が残っています。交通網の整備を進め、点を線、面に広げることで、雇用確保とともに、地域に誇りを持てる一体感ある新しい西尾市を創ります。

- ・ 「くるりんバス」や路線バス等、地域公共交通の路線を再編し、地域内を巡回して買い物や病院へ通える「いこまいかー（乗合タクシー）」で補完することで、交通弱者が生まれない交通体系を構築します。

- ・ 鉄道網が安定して継続できるよう、名鉄の駅周辺に月極駐車場を整備し、定期利用者を確保することで、利用を促進します。

- ・ 工業団地の開発や緑地面積率の緩和により、企業誘致の促進と雇用の創出を図ります。

- ・西尾市の埋もれている地域の歴史や文化を再確認し、地域住民のみなさんと共にその地域ならではの個性ある活性化対策と、起業支援に取り組めます。
- ・市内の観光拠点として、道の駅「にしお岡ノ山」を拡張し、機能を充実させます。
- ・一色・吉良・幡豆の海岸部でフルマラソン大会などを開催し、スポーツ振興と観光振興をあわせた地域活性化を図ります。
- ・名君吉良公をテーマにした大河ドラマの誘致を目指します。

【環境、防災】

前の世代から受け継いだ自然環境は、次の世代へ引き継ぐ継承財産です。公園などの整備と共に積極的に保全に努めます。

西尾市では、津波被害の想定区域も海岸線を中心に広範囲にあり、液状化の可能性が大きいと言われる地域も市内全域に広がっています。早急な堤防整備と危機管理体制の強化を進めます。

- ・新たな産業廃棄物処分場の建設については、これまでも断固反対しており、この姿勢を貫きます。

- ・市民の憩いの場として、ちびっこ広場や公園の整備と、残された自然環境の保全に努めます。
- ・消防団PRイベントを実施することで、認知度向上を図るとともに、消防団を応援する機運を盛り上げます。
- ・万が一の津波や高波に備え、早急な堤防整備を県に働きかけるとともに、緊急時の危機管理体制の強化を進めます。

【市役所改革と市民参加】

市政の棚卸しを元に、思い切った行財政改革を断行することで、厳しい財政状況の中でも財源を捻出し、その予算はソフト面、未来への投資、子どもにツケをまわさないために使います。

また、今回の選挙の争点でもある西尾市方式PFI事業については、市議会でも反対の立場でした。まずは凍結し、市民の声を聞きながら全面見直しすべきです。

私は、多様な形で市民に開かれ、市民が参加できる市政を目指していきます。

- ・全ての事業を棚卸しし、組織を見直すことで、ムダを削ぎ落としス

リムで柔軟な市役所に変えて行きます。

- ・「約200億円もの巨額な費用を使い、たった1社に最長30年にわたって委託する」西尾市方式PFI事業を凍結し、市民の声を反映させて全面的に見直すとともに、積極的な情報公開に努めます。
- ・新規採用を計画的に抑制し、職員数の削減を行い、10年で2割の人員費減を目指します。
- ・職員の能力を伸ばすための研修を充実させ、市民にとってより満足度の高い市役所を目指します。
- ・事業、施設の見直しを市民参加で行う市民討議会を開催するとともに、市民が事業提案できる制度を創設し、市民目線で市政改革をすすめます。
- ・予算編成過程を公開することで、編成の過程に市民が意見を言える制度を整備し、市民とともに財政改革に取り組みます。
- ・公契約の適正化と労働者の環境整備を図る公契約条例を制定します。
- ・女性議会・学生議会を実施し、女性の声・若者の声を積極的に市政に反映させます。